

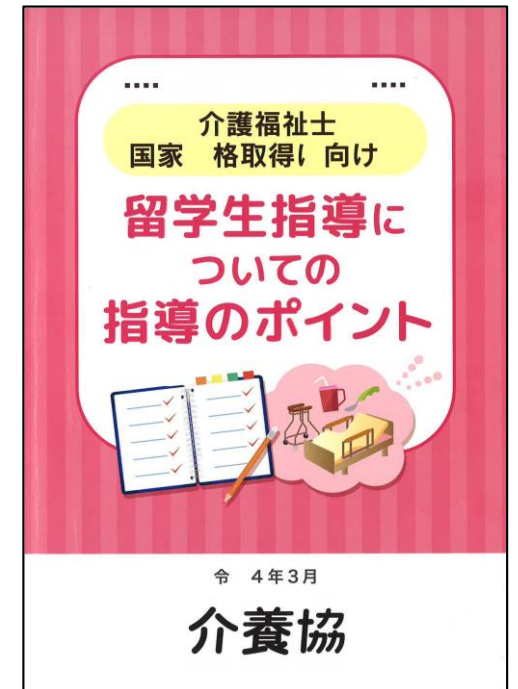
外国人介護人材の学習能力向上のための 学習方法等についての調査. 分析結果の報告

第3分科会 外国人留学生の受け入れと教育

東京YMCA医療福祉専門学校 品川智則

はじめに

- 本報告は、令和3年度「外国人介護人材の質の向上等に資する学習支援等調査研究事業」において作成された「介護福祉士国家資格取得に向けた留学生指導についてのガイドライン（以下「ガイドライン」という）の内容に基づき、留学生指導における「指導のポイント」について報告する。



はじめに

「ガイドライン」には、主に以下の内容が示されている。

- ・ 養成校の留学生のみならず、国家試験受験対象者であるEPA介護福祉士候補者も対象としている
- ・ 指導する際の**前提知識**や具体的な**指導方法**



教員（講師）が、外国人介護人材を指導するための具体的な指導の在り方がまとめられている

はじめに

指導のポイント作成にあって

- ① 授業参観を実施しその内容の分析
- ② 介護福祉士養成施設教員（講師）へのアンケート調査



本日はその中の内容から、指導のポイントについて報告する

主な報告内容について

1. 指導する際の前提知識

2. 指導のポイント(「ガイドライン」から)

1. 指導する際の前提となる知識について

日本人である教員（講師）が「当たり前」と考える一般常識などでも、外国人の方にとっては「当たり前」ではないこともある。

日本の当たり前

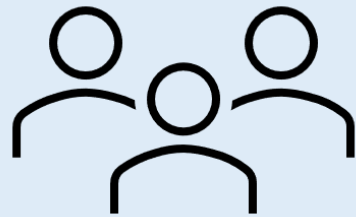
≠

外国人にとっての当たり前

1. 指導する際の前提となる知識について

日本人、外国人といったくくりで考えるのではなく、学生の個別性を踏まえた指導を行っていく必要がある

個別性を踏まえた指導の必要性



日本語能力に
関する個別性

理解の程度

指導のポイント

- ① 「話すスピード」「文章(言葉)の切り方」「平易な言葉への言い換え」
- ② テキストや教材の使い方について
- ③ 外国人と日本人の価値観の違いに関する理解について

指導のポイント①

「話すスピード」「文章(言葉)の切り方」「平易な言葉への言い換え」

- 学生の反応を見て話すスピードを調整する。
- 一文が長くなりすぎないように注意する。
- 文章を書かせる場合は、枠組みをしめす。
- 平易なことばに言い換える。

指導のポイント②

テキストや教材の使い方について

- 読んで伝える。説明箇所を常に確認し、話しているところがわかるようにする。
- 授業の進行にそった板書の工夫。
- 学びのポイントを可視化するための工夫。
- 思考の枠組みを提示する。

指導のポイント③

外国人と日本人の価値観の違いに関する理解について

- 自分自身の体験に置きかえ理解できるようにする。
- 生活支援技術などでは実践を通して、価値を伝える。

おわりに

- 教員自身の自己点検の必要性
- 科目間連携・教員連携の必要性